

「廃棄物」と呼ぶか、  
「資源」と呼ぶか。

それは未来への選択です。

私たちの暮らしを支え、  
生命を守るインフラ。

セメントは、この国のインフラ整備に  
欠かせない素材ですが、  
単なる建築素材だけではない  
役割を担っているのです。

セメントは、製造工程において  
実にさまざまな廃棄物・副産物を  
代替原料・熱エネルギーとして  
有効活用しています。

その量、1年間に約2800万t。  
わが国で発生する廃棄物等の  
循環利用のうち1割強にあたります。  
原料は1450℃という高温で焼かれ、  
有害な物質も分解されます。  
これだけ大量の廃棄物を処理し、  
二次的な廃棄物も出さない  
産業は他にありません。

セメントの原料になった瞬間、  
「廃棄物」はいなくなります。  
セメントをつくることは、  
循環型社会という未来を  
築くことでもあるのです。

セメントをつくる。  
そのとき、  
廃棄物は生まれ変わる。

環境のために、セメントにできることを。